物部の森のもの知り博士になろう！
～森林保全と生き物たちとの持続可能性を考える～

高知県

小学校低学年 | 小学校中学年 | **小学校高学年** | 中学校

ＥＳＤの要素

持続可能な社会づくりの構成概念：多様性、相互性、有限性、公平性、連携性、責任性、その他

ESD視点で育みたい能力/態度：【批判】批判的に考える力、【未来】未来像を予測して計画を立てる力、【多面】多面的、総合的に考える力、【伝達】コミュニケーションを行う力、【協力】他者と協力する態度、【関連】つながりを尊重する態度、【参加】進んで参加する態度

プログラム目標

山や川が人間や生き物に多くの恵みを与えていることに気づき、生態系を守る大切さを理解するとともに、人間もその一員であるという意識を育てます。一方、身近な地域で起きている山や川の異変を認識するとともに、その原因が地域の開発や生産活動などのほか、シカやイノシシなどによる「獣害」が深刻になっていることに着目し、その原因が獣だけにあるのではなく、わたしたちの社会・経済活動と密接な関係があることや、地域で前向きにとらえる取り組みについて学び、共存の方策を考えるきっかけとします。

プログラム概要

物部の森のもの知り博士になろう～森林保全と生き物たちとの持続可能な社会を考えよう～というテーマで、香美市こどもエコクラブの子どもたちが学びを深めました。森林の消滅と山の崩壊につながる獣害、その中でもシカによる食害の影響を学び、世界の現状や対策も学ぶことでシカを捕獲するだけでなく食材として有効活用するなどの、地域の経済活動に活用する方法・可能性を探りました。また、生きもののつながり―生態系―の理解を進める中で、地域の経済活動や自分たちの暮らしが生態系と密接に関係していることに気づき、考えを広げました。

学習指導要領との関連

学年｜教科	小学校5年　社会	小学校6年　理科
学習内容	（１）我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。 イ　国土の地形や気候の概要、自然要件から見て特色のある地域の人々の生活 エ　国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止	B　生命・地球 （３）生物と環境 動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。 ア　生物は、水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていること。 イ　生物の間には、食う食われるという関係があること。

学習指導要領との関連

物部の森のもの知り博士になろう！
～森林保全と生き物たちとの持続可能性を考える～

学習指導要領との関連

学年｜教科	小学校	総合

学習内容	第１　目標 横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見つけて自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

プログラム（単元・題材）の展開の流れ　9時間

物部の森のもの知り博士になろう！
～森林保全と生き物たちとの持続可能性を考える～

時	単元名（題材名）	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕
（1時間） 生態系を理解する		・生き物の特徴を知る。 ・生き物と環境が関係し合っていることに気づく。	ワークショップの手法を取り入れて ・カードを使い、生き物の特徴に気づく ・生態系ピラミッドのことを理解する。 ・参加者同士協力し合いながら学ぶ 〔生き物カード他〕
（2・3時間） ・三嶺の山の現状を知る ・物部の山・川と生き物のつながりを知る		・シカによる食害と地域の環境への影響に気づく ・物部の山の現状とシカの食害の原因を知る。 ・全員でまとめの作業を行い、理解を深める。 ・振り返り	・写真を多用したスライドと講師による解説による。 ・シカの害に取り組んだこどもエコクラブの報告 〔パワーポイント、プロジェクター、スクリーン、壁新聞〕 ・スライドで子どもたちが知っている地域の生態系と自然のつながり、その影響を説明する。 ・獣だけが悪者ではないこと、人間の生活の変化による面もあることも伝える。 ・地域の生態系のワークツールを使いながら全員で振り返りを行う。 〔パソコン、プロジェクター、スクリーン、模造紙、マグネットカード〕
（4時間） 世界の獣害とその対策		・世界の獣害を知る ・人間と自然との共生のための行動を知る	・獣害が日本だけの事象ではないことを知る ・人や自然との共生のため、世界各地での工夫を知る。 ・人と自然、動物の共生の観点を伝える。 [世界地図、PC、プロジェクター、スクリーン]
（5時間） 地域資源としての取り組み		【実習】 シカ肉で料理をつくる	・大切に「いただく」という気持ちを持つ。 ・みんなで協力し合って昼食をつくる。 〔食材、調理道具、作り方等〕

物部の森のもの知り博士になろう！
～森林保全と生き物たちとの持続可能性を考える～

時	単元名（題材名）	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕
（6時間）	獣害について考えよう	【体験】 会場近くで生き物の痕跡を探す。	・わからない痕跡は次回までに調べる。 ・生き物の気持ちになってみる。
（7・8時間）	活動をまとめよう	・これまでの活動で気づいたことや考え方を新聞にまとめる。 ・わからないことにも気づく ・物部の山を守るためにできることを考える。	・2～3人のチームを作り、これまでの振り返りの言葉や写真などを使い、新聞を作る。 ・その中で伝えないことを明確にしてまとめる。 ・チームの中で意見を出し合い、まとめていく。 ［マーカー、写真、のり、色画用紙、これまでのふりかえり用紙など］
（9時間）	発表する	・発表を通した分かち合い。 ・全体を通した分かち合い。	・自分たちの意見をまとめて発表する。 ・伝えたいことを明確にする。 ・発表内容について質問する。 ・今後の活動や思いを伝える。

プログラム地域化メンバー、実証協力校等

地域プログラム化メンバー：物部川21世紀の森と水の会、香美市教育委員会、高知工科大学、えひめグローバルネットワーク
実証協力校等：香美市教育委員会、香美市こどもエコクラブ